

# 月刊島民

橋を渡る人の「街事情」マガジン

中之島  
Vol.35 2011 6/1

●iPadサイズ(と、ほぼ同じ)



ナカノシマ大学

釈 徹宗×高島幸次  
「大阪の神さん、仏さん」  
〈神さん編〉その3  
申し込み受付中!

中之島オンラインショップ





試飲の際は、専門スタッフがウイスキー選びや飲み方のアドバイスも。ただしバーではなく、あくまでショップなので、念のため。

## 芳醇なる洋酒天国へようこそ。 ウイスキーショップ「W」／カーヴ・ド・ヴァン

国産洋酒メーカーの草分けたるサントリーは、単に「飲む」だけでなく、食やライフスタイルとともに洋酒文化のかぐわしく奥深い世界を紹介してきた。堂島浜の本社1階に並ぶ2つの店

にも、そのコンセプトはしっかりと貫かれている。

ソファと暖炉が寛いだ雰囲気醸すウイスキーショップ「W」は「女性が訪れたくなるウイスキーのある部屋」をイメージ。壁一面の棚には国産、スコッチをはじめ同社の誇る100種ものボトル。カウンターでは有料

### ウイスキーショップ「W」

定番銘柄に加え、この店限定のオリジナルボトルも売り切れ御免で販売。月1回のミニセミナーも。試飲は15mlで200円〜。☎06-6341-3123 11:00AM〜7:00PM 土・日祝休

一般家庭にはワインなど馴染みがなかった昭和51年（1976）の開店というから、ウイスキーよりも先に「赤玉ポットワイン」（明治40年発売）で名を馳せた会社の面目躍如である。両店の店長を兼ねる阿部浩二さんは「お酒に酔うというより味わうこと、美味しいものを見つけたのが僕自身大好き。そんな出会いを提供できれば。ここへ来ればきっと、芳醇なる洋酒天国への扉が開く。



## NAKANOSHIMA ONLY SHOP since 1976

### カーヴ・ド・ヴァン

サントリーが扱う世界各国のワインをほぼ網羅している。ワインアドバイザーが常駐し、気軽に相談に乗ってくれる。☎06-6345-6544 10:30AM〜6:30PM 土・日祝休

室温15℃に設定されたセラーは、めくるめくボトルの宝庫。ちなみに阿部店長は華やかでフレッシュな味わいの「ブルゴーニュ派」だとか。



●ウイスキー×焼き菓子の堂島コラボ。サントリー本社に向かい、堂島ロールでおなじみ「モンシュシュ」とのコラボによるギフトも誕生。「山崎」や「白州」のミニボトルと、中之島のバラ園をイメージした「バラのフィナンシェ」のマリアージュ。ともに麦から生まれた逸品が堂島で出会ったことから、名付けて「堂島の再会」。島民の、島民のための贈答品は2,500円。



## 個性派ボタンで、モノと人をつなぎます。 Bota Buro

その昔、谷町筋の天満橋から谷町4丁目あたりは紳士既成服の一大生産拠点だったそうだ。明治の頃から大阪城周辺には軍の施設や役所が多く、軍服や制服を作る店が集まったらしい。表地を扱う羅紗屋、裏地屋、仕立て屋：と分業体制で約200軒。昭和26年

（1951）創業の「丸善ボタン」は、かつてこの界隈に15軒近くあったボタン専門店の一つだ。そんな街の記憶をとどめる老舗が婦人服方面へ進出したのは5年ほど前。同時に卸売だけでなく、オリジナル商品を作って小売にも力を入れ始めた。



社内の製作スタッフによる発案、作家や他店とのコラボで商品は広がりを続けている。季節ごとにテーマを定め、新作発表を兼ねた企画展も。

そのブランドとショップが「Bota Buro」だ。3代目社長の岸本知子さんは「ボタンは素材、色、デザインやサイズも多彩で、うちで扱うだけでも数万種類

その1個1個に個性がある。組み合わせれば、単なる留め具ではなく、世界に一つのハンドメイドアクセサリができると考えたんです」という。「組み合わせ」が基本だから、発想と工夫次第で可能性は広がる。ブランドの原点であり、今や定番商品となった色とりどりのボタンと布のプローチやエンブレム。ボタンのデザインをパッケージや型に活かしたチョコレット。さまざまなモノと人をつなぎ、留める仕事ぶりは、さすがボタンの専門店なのである。

●「メイドイン大阪」を追求するラボ。丸善ボタンが中心となった「大阪ラボ」という研究会がある。さまざまな職人や工房の仕事を取りこし、コラボによる新たなメイドイン大阪商品を作るプロジェクトを進行中。「安い海外製商品を大量消費する社会から、個々の生活単位に根差した流通や働き方を取り戻したい」と岸本さん。成果は10月に本社1階のギャラリーで展示予定。

# NAKANOSHIMA ONLY SHOP

官公庁やオフィスビルが集まる中之島だからこそ、インディペンデントにがんばる店の存在は際立つ。中之島という土地に愛着を感じている店であればなおさら。この街にしかない「オンリーショップ」とも言うべき店々の、人やものから、この街らしさとは何かを読み解いてみよう。

取材・文／大迫力 松本 創（共に本誌）

since 1951



水牛の角、貝、ナット、メタルに樹脂。素材も色もさまざまなボタン。かつて業界では「ボタンを見れば服の値段が分かる」と言われたそう。

### ボタフロ Bota Buro

お店に並ぶボタンをふんだんに使ったアクセサリや服、帽子などはすべて同社スタッフや作家による一点もの。もちろん、ボタンのみの販売も。お気に入りのボタンを選んで作るアクセサリ講習会も毎月2回。☎06-6942-2261 11:00AM〜6:00PM 日・祝&第1・3土曜休

# ワン&オンリーな個性派が集う 天満・滝川公園アラウンドをゆく。

川と緑、そこに流れる空気に惹かれて、天満にある小さな公園の周りには、ここ数年古本屋さんや雑貨ショップが集まりつつある。少し古びたビルの1室を自分流にアレンジした空間は、どれも個性全開だ。

取材・文／大迫 力(本誌)



## ビギナーにはちょうど良い古本屋さん。 FOLK

「もともと本が好きでたくさん集めすぎたので、それなら売ってしまおうと思って(笑)」。そんな思い切った理由で古本屋を始めてしまった吉村祥さんは26歳。古本屋業界ではかなりの若手だ。マンガや雑誌、絵本など誰でも手に取りやすい本をあえて中心にした品揃えながら、「今後はもっとジャンルを広げて、どんな本でも置けるようになりたい」と気合は十分。雑貨や文房具、CDなどもあり、隔々まで要注目。☎06-7860-7388 12:00PM～8:00PM 月曜休



可愛らしい外観ながら、古本好きに人気の保育社カラーブックスを大量にストックするところがニクイ。古本上級者も楽しめる。



## 鉄道広告社ビル

ただの会社ビルと思いきや、2階には小さなショップが大集合。アーティストグッズや雑貨を扱う [tobuhon]、モロッコ雑貨の [nora]、ギャラリー [hitoto] など、顔ぶれもさまざま。店主が他の仕事と兼業のため、ほとんどが週末のみの営業というのも面白い。



## タツタビル

先ほど紹介した [駒鳥文庫] が1階入るのがこちら。そのほか、2階にはアンティーク雑貨を扱う [夜長堂] のショップ兼事務所もある(不定休)。建築好きなら、古い中にも味のあるビルの内装にも注目。



コーヒーを飲みながら手紙を書く「お手紙部」があったり、「時色」を中心にしてたくさんの方のコミュニティが生まれている。

## 好きなものをみんなで。小さな「図書室」。

インテリアデザイナーが本業のつかだよしひろさん。古本好きが高じて借りた倉庫兼事務所を、「自分の好きな本を気に入る人がいるかもしれない」と貸本喫茶をスタート。開店して1年半ながら、図書館員(会員)はすでに130人。手作り市で知り合った作家の雑貨を販売したり、イラストレーターのミニ展示を行ったり、「好きなものをたくさんの人と共有したい」という思いがじわじわと広がっている。☎06-7174-0234 12:00PM～7:00PM 月・火曜休



## 街の空気に寄り添った、 映画専門古本店。 駒鳥文庫

中之島の川や緑に心が落ち着くという人は多い。昨年10月に開店した「駒鳥文庫」の村上淳一さんも、そんな環境に呼び寄せられた一人だ。阿倍野の老舗古書店「黒崎書店」で5年間営業した後、思い立って独立。「どうせやるなら他にはない品揃えで」と、専門

学校に通うほど大好きだった映画関連の本を専門に扱うことにした。映画論や批評といった硬派なものから、監督や俳優が書いたエッセイ、雑誌、上映時のパンフレットまで蔵書は約2000冊。往年の銀幕スターのプロマイドも揃う。「映画ならどんなもの



でも分け隔てなく好き。邦画でも洋画でも、新しいものも古いものも見ますよ」という村上さんの映画愛がそのまま本棚になったような空間だ。さらに、建築映画の上

でも、この近くに住み、街の雰囲気を知っていたという村上さん。開店にあたって、「せっかくなので足を運んでもらうんだから、ゆつくりしていてもいい」と、水や緑が近くにある、のんびりとした雰囲気のある場所を選んだ。コーヒーをいただける窓際の小さなテーブル席に座って、本と一緒にそんな空気も味わってみたい。

でも、この近くに住み、街の雰囲気を知っていたという村上さん。開店にあたって、「せっかくなので足を運んでもらうんだから、ゆつくりしていてもいい」と、水や緑が近くにある、のんびりとした雰囲気のある場所を選んだ。コーヒーをいただける窓際の小さなテーブル席に座って、本と一緒にそんな空気も味わってみたい。

以前、この近くに住み、街の雰囲気を知っていたという村上さん。開店にあたって、「せっかくなので足を運んでもらうんだから、ゆつくりしていてもいい」と、水や緑が近くにある、のんびりとした雰囲気のある場所を選んだ。コーヒーをいただける窓際の小さなテーブル席に座って、本と一緒にそんな空気も味わってみたい。



木製の大きな本棚は村上さんが知り合いの家具職人に作ってもらったもの。「少し年季が感じられるようにしてもらいました」。どおりであたかみのある印象に。



**駒鳥文庫**  
日本でも珍しい映画関連書籍を専門に扱う古書店。「映画の話など、なんでも気軽に聞いてください」と村上さん。ちなみに店名の「駒鳥」は映画で1コマずつ撮影した写真をつなげて映像にする「コマ撮り」に由来。買い取りも行う。☎06-6360-4346 12:00PM～7:00PM 月曜休

数ある蔵書の一部。映画の本ってこんなにあったのかと驚いてしまう。動く映像に関わる全般がとにかく大好きな村上さん、店では古いカメラなども販売している。



中之島でゆっくり育まれる  
オーダーシャツ。  
LES LESTON



「美術館があり、歴史が豊か。文化的で上品なところが好きなんです」  
オーダーメイドシャツの専門店「LES LESTON」の店主・久木元亨さんは、以前本誌で取り上げた際に、中之島のイメージをこんな風に語った。当時店があった旧ダイビルが改修されること

「美術館があり、歴史が豊か。文化的で上品なところが好きなんです」  
オーダーメイドシャツの専門店「LES LESTON」の店主・久木元亨さんは、以前本誌で取り上げた際に、中之島のイメージをこんな風に語った。当時店があった旧ダイビルが改修されること



「お客さんの中には遠方から来てくださる方も多くいます。長い方だと小一時間ぐらい、ゆっくりと話しながらオーダーを聞く。そして、川沿いの遊歩道を散歩して帰って行く。だからこの場所にあることは、おもてなしのようなものなんですよ。シャツをオーダーし、職人の手によって作られたものを受け取る、そんな一連の時間の流れもまた、この店が生むメイドイン中之島の一つなのだろう。」



店主の久木元さん。中之島界隈のクリエイターとは旧ダイビル時代から「ご近所さん」的に仲が良く「LES LESTON」のシャツ愛用者も多い。

シャツに合わせるネクタイなども一緒に提案。財布やカードケースといった革製品も、アイテムを厳選して置いている。ディスプレイのしかたも実に粋である。



レス レストン  
LES LESTON  
オーダー方法はフルオーダー(30,000円〜)のほか、襟の形など細部だけのパターンオーダー(20,000円〜)もある。レディメイドのオリジナルシャツも販売しており、メンズは15,000〜25,000円、レディースは18,000〜28,000円。☎06-6448-8330  
11:00AM〜8:00PM 日・祝休

ONLY SHOP JOURNAL

ラベルには淀屋橋に中央公会堂も。これぞまさしく「地ビール」。

「MJB珈琲店」と言えば曜日ごとに豆が変わる「七色の珈琲」で有名だが、コーヒーだけでなく、ここでしか飲めないビールがある。箕面市にある「箕面ブリュワリー」の勧めを受けたビール愛好家の社長・横井純一さん。さっぱりとしていて飲みやすいピルスナータイプを選び、「淀屋橋麦酒」と命名した。二条大麦とホップのみを原料とした麦芽100%のビールは、低カロリーなことから「会社帰りの女性がよく飲まれますね」。

「MJB珈琲店」の  
淀屋橋麦酒

ただ、「そのまま出すだけでは面白くない」と考えた横井さん、お得意の水彩画で淀屋橋の風景を描き、ラベルの図柄を逆提案。中央公会堂が橋の向こうに見え隠れする、地元感溢れるこのデザインが誕生した。お酒と水彩画、ご本人曰く「両方とも好きが高じてできた」ビールを飲めば、これまで以上にシマへの愛着が湧くこと間違いなしか。

「地元味」を目指して。

街の人に愛される「地元味」になりたいと、名前に地名が付いたフードやドリンクを出す店がある。そこに込められた想いとはどんなものなのだろうか。

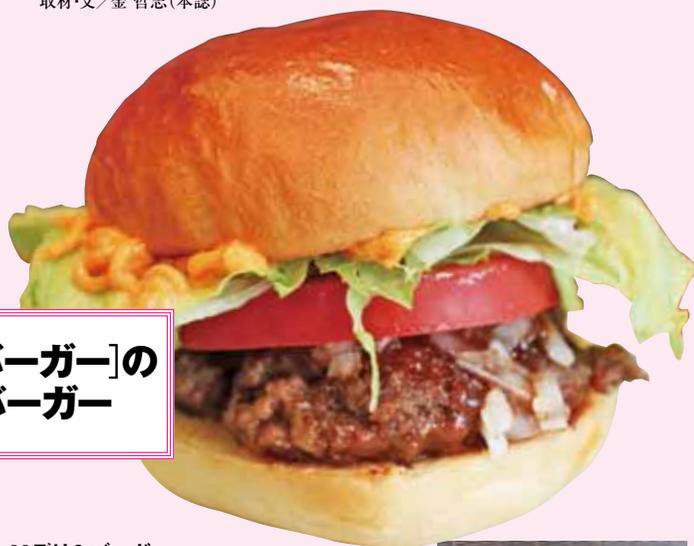
取材・文/金 哲志(本誌)

大阪の食は“こなもん”のみにあらず、を掲げる島民ご当地バーガー。

2008年に開店した「Mデリ&バーガー」の中之島バーガー。松阪牛100%のパティを使用し、噛めば肉汁が溢れる贅沢感たっぷりのハンバーガーだ。

生みの親は、「Mデリ&バーガー」と共に中之島で「松阪牛焼肉M」を営んでいる異益章さん。「ハンバーガーの方が焼肉よりも手軽に松阪牛の美味しさを知ってもらえるから」と、焼肉店に併設する形でハンバーガーショップを開店した。「大阪の食べもの」というと、「こなもん」のことばかり言われるでしょう。他にも美味しいものがたくさんあるのに」と異さん。地元だけでなく他府県の人にも知ってもらおうと、「会社が多く、出張や転勤などで大阪以外の街から人が集まる中之島で」と思い立った。それまで淀屋橋にあった店舗も一緒に移転したということから、中之島へかける想いが伝わってくる。

「Mデリ&バーガー」の  
中之島バーガー



Mデリ&バーガー

中之島バーガー(680円)の他にも、「中之島ビーフサンド」や「中之島カレーパン」など、中之島を冠したメニューはどれも松阪牛を使用しており、平日は「今日は少し贅沢しよか」と近所の会社の人たちに、休日は子連れ客や国立国際美術館帰りのカップルに人気を呼んでいる。☎06-6446-0100 11:00AM〜7:00PM 無休



MJB珈琲店

インテリアも重厚で落ち着いた雰囲気の内は、コーヒーの香りに誘われた多くの客で昼夜問わずにぎわう。淀屋橋麦酒は620円(ミックスナッツ付き)、持ち帰りの場合は1本500円。☎06-6203-0078 7:30AM〜10:00PM(土曜8:00AM〜6:00PM、祝日9:00AM〜6:00PM) 日曜休

2011年  
7月講座

連続講座「大阪の歴史をやり直す」

**②宗教 大阪の神さん、仏さん〈神さん編〉その3**

対談／**釈 徹宗**（浄土真宗本願寺派住職） **高島幸次**（大阪大学招聘教授／大阪天満宮文化研究所員）

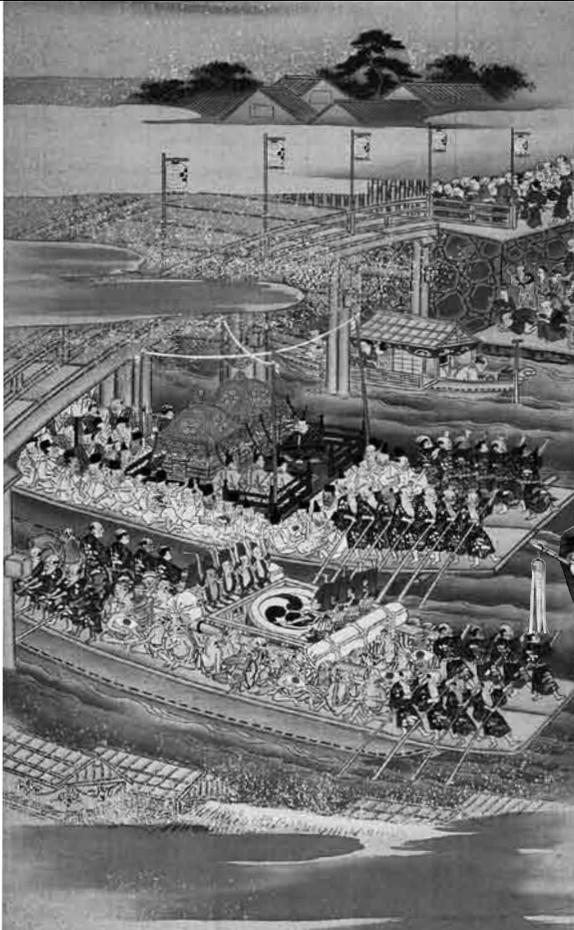
**天神祭の見どころ紹介も！  
大阪の神社の最重要行事  
「夏祭り」に迫る。**

神社やお寺のありよう、街の人々との関わりから、大阪の歴史を解き明かそうとする対談シリーズ。通算第3回目となる今回は、いよいよ〈神さん編〉の最終回。高島幸次先生がかねてから強調している、「大阪の神社の最大の特徴は、夏祭りの規模が他の都市と比べて大きいこと」、そのゆえんが明らかになる。



数ある夏祭りの中でも別格の存在感を放つのは、やはり天神祭。千年を超える歴史や、その見どころについても、専門家である高島先生にたっぷりご紹介しよう。

また、宗教学者であり浄土真宗本願寺派の住職でもある釈徹宗先生による、仏教やその他の宗教からの視点も加わることで、大阪のこうした宗教的特性がよりいっそう詳しく明らかになること間違いなし。1回目から聞いている方はもちろん、今回から聞いても十分に楽しめます。



「天神祭図」(大阪歴史博物館所蔵)



今回の会場となる追手門学院大阪城スクエアでは、「お迎え人形」を展示中。

「お迎え人形」が  
お出迎え！

**大阪の神さん、仏さん〈神さん編〉その3**

講師／**釈 徹宗** 高島幸次  
日時／7月22日(金) 7:00PM～(開場6:30PM～)  
会場／追手門学院 大阪城スクエア(6F)  
受講料／1,500円 定員／200名  
主催／ナカノシマ大学事務局  
協賛／追手門学院大学  
協力／大阪21世紀協会

お名前・ご住所・電話番号を明記の上、下記までハガキ、ファックス、もしくはHP内の応募フォームからお申し込みください。ハガキ、ファックスについては、複数名でご参加希望の場合は、人数分の必要事項を明記してください。ハガキ、ファックスでお申し込みの方は、講座名を必ずお書き添え下さい。

〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階  
「ナカノシマ大学7月講座」受付係 FAX.06-4799-1341

※先着順で受付を確認し次第、順次、受講票をお送りします。  
※定員に達した時点で申し込みは締め切らせていただきます。

ナカノシマ大学の最新情報は

<http://www.nakanoshima-univ.com>

ケータイからは  
こちら！→



お問い合わせ ☎06-4799-1340  
(ナカノシマ大学事務局)

**島との縁をさかのぼる。**

仲間たちと「[graf]」を立ち上げる前、少年探偵団、なんて言いながら、みんなで中之島に集まっていた時期がありました。昼間はそれぞれ仕事をしながら夜に作品を作って、毎週火曜日に中央公会堂の前で成果を発表しあうんです。例えば大工をやっているヤツは建てた家の写真を見せたり、それを見て「うわー、すごい。俺も頑張ろう」と言い合ってた。メンバーが住んでいたのが北摂と日本橋と今里で、真ん中と言えば中之島だろうということ。雨の日も風の日も、寒い日はコンビニで肉まん買って食べながらやっていたんですよ(笑)。ちょうど23歳ぐらいの頃ですね。

その頃から、四天王寺とか京都の東寺の朝市で古いものを買って、自分たちで修理して使うというのがすごく好きだったんです。だから古いもの好きは全員共通のキーワードで、中央公会堂や東洋陶磁美術館は僕らの憧れの場所でもあった。それで、「[graf]」を立ち上げた後、堀江の事務所が手狭になって新しい物件を探す時に、中之島も候補エリアに入れて探していたんです。このビルを見つけて入ってみたら、2階の踊り場に彫刻家の植木茂さんの作品が飾られていた。「渋っ！」と思っ

大阪を代表する家具デザイン集団「[graf]」が、堀江から中之島に拠点を移したのは12年前のこと。工房や事務所を構えるだけでなく、ギャラリー、カフェ、デザインショップなど多彩な機能を持ち、中之島との縁は深くなる一方だ。中之島でものづくりを続ける理由を尋ねた。

取材：文／大迫力 金哲志(共に本誌)

**中之島でしかできない、もの作りを続ける  
「[graf]」服部滋樹さんに聞く。**



**中之島の愛すべき「ラジカルさ」。**

中之島に移ってきた時にマップを作ったんですよ。その時にいろいろ調べて、中央公会堂のような近代建築から、国立国際会議場みたいなハイテクな新しいものまで、混在しているというか

グラデーションのように存在しているんだなと実感した。

文化って、時代に合わせた変化を遂げるべきだと思うし、逃げないことたぶんなくなってしまう。ものづくりはやっぱり、その時代に合わせて明快な解答を出すことも必要だから、ラジカルさ(過激さ)も大事だと思う。切れ味が良いものは時間が経っても残っている。例えば岩本栄之助が中央公会堂を建てたときの勢いや魂には、誰もが敬意を払ったと思うし、でき上がった時にはきつと「この建物をみんな育てよう」という気分になっていたと思うんです。そういう意志のある建物は大好きですね。

こういう「時代のグラデーション」みたいなものがある場所ってなんだろうと考えると、文化が育ちやすい場所じゃないかなと思うんです。「[graf]」も、

そこにあるということに意味があると思っっています。

**「非日常性」のスイッチに。**

国立国際美術館に来た人は、日常生活にはない「非日常」を感じ取って、家に戻りますよね。「[graf]」のショップやギャラリーも、そういう場所になりたい。僕がよく撮るのが、背中丸めた男の子が仁侠映画を見て、見終わった瞬間から気分が向上して、いきなり肩で風切りながらタバコを吸い始める。その変化って何かと言うと、非日常性の仕業だと思っんです。さっきまでは背中丸めるくらい世界を嫌な目で見ていたはずなのに、映画見た瞬間から気分が高揚している。そういう非日常的表现を起こせるのが、やっぱりアートやデザインの力だと思っんです。そういうスイッチのシフトをどういう形で用意しておけるかなという視点でもの作りをしていますね。



「[graf]」は3階がショップ兼ショールーム(上、2階はカフェディング、1階はギャラリースペース)になっている。☎06-64509-2121



淀屋橋駅直結の複合型商業施設「淀屋橋odona」の2階にある情報発信スペース「アイ・スポット」では、大阪の歴史に関する展示が無料で見られるほか、月刊島民をはじめとするフリーペーパーなど街の情報も集まっています。さらに、毎月さまざまなミニセミナーも開催。会社帰りに、街遊びのついでに、ぜひお立ち寄りください！

**6/1 (水)~30 (木)**  
中之島の橋を見よう!

『月刊島民』でも人気だった連載「Talk about bridges!!」でおなじみ、綱本武雄さんの描いた橋の絵をパネルにして展示。また橋にまつわる基礎知識を図解したパネルも同時に展示。奥深き大阪の橋ワールドへと誘います。



**6/28 (火) 6:30PM~8:00PM**  
大阪大学21世紀懐徳堂i-spot講座  
「お茶わんのかげらからみえてくる平安時代」

講師 / 中久保辰夫 (大阪大学大学院文学研究科・助教)  
亀岡市の平安時代の窯跡からは、貴族や有力者が愛好した「緑釉陶器」、庶民が使った粗雑な「須恵器」などが約2万点出土しました。それらの遺物を観察しながら当時の社会や食文化についてお話しします。定員30名。  
●講座名、受講者名、電話番号を電話かメール、FAXでお知らせ下さい。

**6/27 (月) 7:00PM~9:00PM**  
御堂筋Talkin'About vol.6  
「パーソナルな大阪情報発信」

ナビゲーター / 生駒伸夫 (生駒ビルディング) 小川清 (平岡珈琲店) 山納洋 (大阪ガス)  
「御堂筋Talkin' About」は、あるテーマについて興味・関心を持つ人たちが集まり語り合う「サロン」です。今回は「ブログ、ツイッターなどの個人レベルの情報発信が、大阪の街の活性化にどう繋がるか」について考えていきます。●予約不要・当日先着順

**6/29 (水) 7:00PM~9:00PM**  
船場大学淀屋橋キャンパス 第1回  
「食べるを楽しむ、学ぶ」

講師 / 中尾卓嗣 (農林水産省近畿農政局大阪農政事務所)  
淀屋橋・本町・心斎橋をキャンパスに見立てた、大学生中心の学びの場。今回は関西学院大学と神戸女学院大学によるパン好きが集まるサークル「SammyPan」を中心に、講師の中尾さんと話し合いながら、食に対する視点を広げていきます。●予約不要・当日先着順

アイ・スポット 大阪市中央区今橋4-1-1 淀屋橋odona2階 TEL&FAX. 06-4866-6803 E-MAIL. i-spot@voice.ocn.ne.jp  
開館時間: 11:00AM ~ 9:00PM (土・日・祝 ~ 8:00PM) 年末年始休 地下鉄御堂筋線「淀屋橋」駅10番出口直結 京阪本線「淀屋橋」駅徒歩1分  
http://nakanoshima-univ.com/site/ispot/

申し込みも、  
セミナーレポートも、  
島民バックナンバーも...

ナカノシマ大学ウェブサイトで!

ナカノシマ大学のウェブサイトでは、毎月の講座の申し込みだけでなく、楽しめるコンテンツが満載。これまでに開催された講座の様子がわかる「セミナーレポート」のページのほか、島民のバックナンバーをダウンロードできるページもあり。島民、ナカノシマ大学のことならなんでも、ナカノシマ大学ウェブサイトどうぞ。

講座のお申し込み

お申し込みを受付中の講座はページのトップに。講座の概要から申し込みまで、スムーズに進めます。

バックナンバーはこちら

月刊島民のバックナンバーをダウンロードできるのをご存じですか? こちらからバックナンバー一覧ページに飛ぶと、PDF形式でダウンロードすることができます。

中之島の遊び方

月刊島民プレスによる中之島のおすすめスポット紹介も不定期で更新しながら掲載しています。



あの講座をもう一度

これまでに開催されたナカノシマ大学の講座の様子が見られるセミナーレポートページ。参加できなかった方はぜひ。

iPadでも見られます!

「月刊島民」がiPad用のアプリとして登場! iTunesストアで「月刊島民」と検索し、アプリをダウンロードするだけです。無料で簡単に手に入れることができます。毎月1日前後に最新号をリリースします。



バイオリンからコントラバスまで、オールド名器が所狭しと並び「鈴木弦楽器」にて。作曲家のラヴェル自身が指揮したとされる「ボレロ」の貴重なレコードを、ご自慢の蓄音機で聴かせるというサプライズも。

2011年4月16日 (土)  
「あなたと街と音楽と in天満橋・北大江」

公園を囲むマンション群に楽器の卸商や工房が集まる天満橋・北大江地区。通称「天満村」と呼ばれる街一帯を会場に、ナカノシマ大学4月講座は開かれた。弦楽器のプロたちによるトークショーに続き、バイオリン、ハープ、マンドリン、アコーディオンの5軒を巡る工房見学。さらに、希望者はアイリッシュフィドル&ギターのコンサートまで。さまざまなかたちで「天満橋サウンド」にどっぷり浸る音楽講義となった。

トークショーは「良い楽器を見分けるには」という話題からスタート。ヨーロッパで古い楽器を買い付ける「鈴木弦楽器」の鈴木英俊さんは「楽器は見た目では



選ぶ。弦も張っていないバイオリンから音を想像する、いわば眼力やインスピレーションの世界」だという。やはりベテラン楽器商である「Liuteria BATO」の馬戸修さんは「人を見るのと同じ。今までどんな演奏家に出会ってきたか、健康状態はどうか、何年後にどういう音になるか。われわれは、楽器の歩んできた「人生」から素質や将来性まで見極めて

いるんです」と語った。バイオリンの寿命は人間の4~5倍。その間に実力を発揮させてくれる良い演



アコーディオンの「ソハミミュージック」では、音の出る原理や類似楽器の紹介まで丁寧に解説。



「中川弦楽器」はマンドリンの工房。螺鈿や彫刻をほどこした美術品のような姿形に感嘆の声が。

奏家と出会うことで、長い年月をかけて完成に近づいてゆく。楽器を人とすれば、楽器商は幸福な出会いを導く仲人だ。では、私たちが楽器を買う際のポイントは? 馬戸さんに問うと、「自分を導いてくれるような、実力より少し上の楽器を選ぶのがいい」とのこと。普通の人だと「乗用車」、プロや音大生なら「高級車」ぐらいの値段の物がいいらしい。

作り手も独特の視点を持つ。イタリアで巨匠に学んだ馬戸健一さんは「職人が見るのはスクロール(渦巻き)だったり、全体のバランスだったり。音そのものよりも、手作業の技術力を重視しますね」。現時点の音の良し悪しだけでは計れない奥深い世界があるのだ。

そんなプロの仕事や職人気質が、街とこの北大江という地区。楽器商や工房と地域住民が協力して、毎年秋に公園や界隈の店で「たそがれコンサートWeek」が開かれ、年々大きく育っている。事務局の岸本知子さんは「街に開かれていて、音があふれ出るようなイベントが理想。実際、公園でオーケストラ演奏をすると3筋、4筋先にも響き、人が集まって来る。企画内容も演奏ジャンルも、自然発生的に広がっていくアドリブ的な面白さを大事にしたい」と語った。

受講生たちはこの後、工房見学へ。プロたちの仕事ぶりや楽器愛に触れ、音楽と共にある街の豊かさをさらに深く体感したのだった。



日本で唯一のハープのメーカー「青山ハープ」のショールーム。最古の弦楽器の歴史と構造を学ぶ。



# レクチャー&対話プログラム「ラボカフェ」

読書・哲学・鉄道など、毎月リアルタイムなテーマでカフェ風ワークショップを行っている、京阪電車中之島線にわ橋駅地下1階の [アートエリアB1]。6月のラインナップはこんな感じ。

<b>1</b>	水	7:00PM~ 8:30PM	歯医者さんとカフェ「受付や歯科助手さんと、何を話したらいいの？」 定員 / 30名程度
<b>8</b>	水	7:00PM~ 9:00PM	中之島哲学コレージュ／哲学カフェ「結婚したほうがいい？」 定員：50名程度
<b>9</b>	木	7:00PM~ 9:00PM	シアターカフェ「セリアの覚え方」 定員：30名程度 ゲスト / 広田ゆうみ (俳優)
<b>15</b>	水	7:00PM~ 9:00PM	中之島哲学コレージュ／新・哲学セミナー「ニーチェ『ツァラトゥストラはこう言った』を読もう (1)」 定員：50名程度
<b>23</b>	木	7:00PM~ 9:00PM	マンガカフェ 11 + 鉄道カフェ「鉄×マン！」 定員：50名程度
<b>24</b>	金	7:00PM~ 9:00PM	中之島哲学コレージュ／セミナー「性・HIV 高校生からの投げかけ」 定員：50名程度 ゲスト 大阪府立松原高等学校「るくめいと」、大北全俊 (大阪大学大学院文学研究科助教)
<b>29</b>	水	6:30PM~ 8:30PM	スポーツカフェ・パシフィック「大学野球の魅力を語る」 定員：30名程度

会場／アートエリアB1 参加費／全て無料 開場／それぞれ30分前から 問い合わせ／[カフェの内容について] 大阪大学コミュニケーションデザイン・センター (CSCD) ☎06-6850-6632 [場所などについて] アートエリアB1 ☎06-6226-4006 ※内容は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。



## 大阪大学21世紀懐徳堂

●Handai-Asahi 中之島塾 大阪大学が朝日カルチャーセンターと共催しているセミナーです。

<b>11・25</b>	土	10:30AM~ 12:00PM	「これからの医療の新展開、全人的統合医療を目指して」伊藤壽記 (大阪大学大学院医学系研究科教授) 受講料3,150円 (全2回)
<b>18</b>	土	1:30PM~ 3:00PM	「古代語の謎を解く」蜂矢真郷 (大阪大学名誉教授・中部大学教授) 受講料1,575円
<b>24</b>	金	1:30PM~ 3:00PM	「おもしろ日本語学 ~ことばのゆれ~」小矢野哲夫 (大阪大学大学院言語文化研究科教授) 受講料1,575円

会場／大阪大学中之島センター インターネット、電話、ファックスが、朝日カルチャーセンターの窓口でも直接申し込むことができます。http://www.asahiculture.com/nakanoshima/index.html ☎06-6222-5224 FAX06-6222-5221 問い合わせ／朝日カルチャーセンター(中之島) ☎06-6222-5224

●大阪・京都文化講座(前期)『大坂・京の文彩—文学が織りなす二都のすがた—』立命館大学と共同で行う連続講座です。

<b>6</b>	月	2:00PM~ 3:40PM	「都文学名所図会—浮世絵に描かれた文学—」赤間亮 (立命館大学文学部教授)
<b>13</b>	月	2:00PM~ 3:40PM	「妙法院宮文芸サロン—異色の親王とその周囲の人々—」飯倉洋一 (大阪大学大学院文学研究科教授)
<b>20</b>	月	2:00PM~ 3:40PM	「森鷗外と<京都>—「高瀬舟」の世界—」瀧本和成 (立命館大学文学部教授)
<b>27</b>	月	2:00PM~ 3:40PM	「近代文学が捉えた大阪・京都イメージ」出原隆俊 (大阪大学大学院文学研究科教授)

会場／立命館大学大阪キャンパス 受講料／1回2,000円 定員／各回98名 申し込み・問い合わせ／立命館大阪オフィス ☎06-6360-4895 FAX06-6360-4894 ※詳しくはhttp://www.ritsumeiji.jp/life-09/e09\_10kyo.htmlまで

●大阪大学×大阪ガス アカデミックッキング「専門分野の講義」&「料理実習」で“学問するココロ”が実践的に身につきます。

<b>7/28</b>	木	6:30PM~ 9:00PM	「ドクター石蔵の男のええ加減料理講座～中年男性こそオシャレを意識して、脱メタボ！」 石蔵文信 (大阪大学大学院医学系研究科准教授) 課題料理＝一人用土鍋でつくる野菜たっぷり中華丼
-------------	---	-------------------	--

会場／大阪ガスッキングスクール千里 講習費／1,500円 対象／男性限定 (一度も料理をしたことのない方、若い方も大歓迎!) 定員／24名 (申込多数の場合は抽選) 申込受付期間／6月7日(火)～16日(木) 申し込み・問い合わせ／大阪ガスッキングスクール千里 ☎06-6871-8561 http://www.og-cookingschool.com/

# 21世紀の懐徳堂プロジェクト 6月の時間割

ナカノシマ大学ほか、中之島周辺の「学びの場」の時間割をご紹介します。



## 大阪カルチャークラスター!!

大阪カルチャークラスター!! (OCC!!) では、大阪にあるカフェやギャラリーなどで独自に企画・運営を行っている講座・ワークショップを一堂に集め、紹介していきます。

<b>4</b>	土	2:00PM~ 4:00PM	「小さなバラの切り絵」佐川綾野 (切り絵作家) 参加費：3,150円	会場 G
<b>11</b>	土	7:00AM~ 8:30AM~ 10:00AM~ 7:00PM~	「中之島の水辺で『水上さんぼ』」奥谷 崇 (インストラクター) 参加費：3,000円 (レンタル一式+保険+協力金) ※約1時間	会場 D
<b>12・25</b>	日・土	A / 11:00AM~ 2:00PM B / 4:00PM~ 7:00PM	「沖縄料理教室&ピッツァパーティ」中東ゆうこ (「ポーポー屋」店主) 参加料：A / 3,800円 B / 4,500円 (ワイン付き) 各回6名限定 A / プロが伝える沖縄ごはん! B / 沖縄の塩豚を仕込んで手作りピッツァを!	会場 H
<b>12</b>	日	A / 1:00PM~ 2:30PM B / 3:00PM~ 4:30PM	「紅茶教室」Yuriko (ティーコーディネーター) 参加料：各2,000円 (お菓子作家HIKEの焼き菓子付き) A / 世界三大紅茶 B / おいしいストレートティー	会場 B
<b>12・17</b>	日・金	1:00PM~ 3:00PM	「樹脂アクセサリー作りのワークショップ」ふくろうと猫 / 根岸よしこ (アクセサリー作家) 参加費：1,500円	会場 G
<b>15</b>	水	1:00PM~ 2:30PM	「宝塚・百合珈琲教室 [美味しいアイスコーヒー!] 百合千佳 (百合珈琲店主) 料金：2,000円 (お菓子+珈琲のおみやげ)	会場 H
<b>17</b>	金	6:00PM~	「不思議の国イランの音を聴く」朗読：愛甲恵子 / サントウール演奏：岩崎和音 参加料：2,000円 (イランのお茶とお菓子付き)	会場 C
<b>18</b>	土	10:00AM~ 12:00PM 2:00PM~ 4:00PM	「工作教室Coppa!!-ロボットに大変身!」ムラバヤシケンジ (木彫アーティスト) 会場E 料金：1,800円	会場 E
<b>18</b>	土	2:30PM~ 4:30PM	「ワイン講座～南仏」N.Lee (ワインコーディネーター・ボンバルル江戸堀店主) 受講料：2,000円	会場 F
<b>19・29</b>	日・水	1:00PM~ 2:30PM 7:00PM~ 8:30PM	「三日月豆のこけだま教室【ウォーターマッシュルーム苔玉作り】」松本よし子 (三日月豆 店主) 参加料：3,800円 (材料費+軽食+お茶)	会場 H
<b>22</b>	水	7:00PM~	「聴いて読む&洋書絵本を読む」山崎一郎 (翻訳家) 参加費：1,500円 (お茶付き)	会場 I
<b>25</b>	土	1:00PM~ 4:00PM	「バンドブローチのワークショップ」annas / かわばたあんな (刺繍作家) 参加費：3,200円+材料費1,000円	会場 G
<b>25</b>	土	4:00PM~ 8:00PM	「不思議の国イランの味を学ぶ」ダリア・アナビアン (ヘルシア文化の伝導師) 参加料：3,500円 (実習・飲食費込み)	会場 C
<b>27</b>	月	7:00PM~ 8:30PM	「落語を楽しむ～入口遊びで、出口は文化」桂蝶六 (落語家) 受講料：2,000円 (テキスト付き)	会場 F
<b>28</b>	火	7:30PM~ 9:00PM	「石原正一のヨミすぎ!～古今東西名作朗読会～」石原正一 (役者・作演出家) 受講料：1,500円	会場 A

**A** common cafe  
大阪市北区中崎西1-1-6 吉村ビルB1F  
☎06-6371-1800  
http://www.talkin-about.com/cafe/

**B** 雑貨屋Biscuit cafe  
大阪市北区中崎西1-9-24 中崎ハウス202  
☎090-9254-1223  
http://biscuit-cafe.com/

**C** spice&herb cafe MASALA  
大阪市北区西天満1-2-24  
☎06-6360-3813  
http://www.masala-world.jp

**D** 若松の浜 ※お問合せ：アクアスタジオ  
大阪市中央区南船場2-7-14 大阪写真会館3F  
☎06-6125-0550  
http://aquastudio.jp/

**E** morrison(studio)  
大阪市福島区吉野4-20-13  
☎080-3113-4816  
http://webmorrison.com/

**F** フレイムハウス  
大阪市中央区淡路町1-6-4  
☎06-6226-0107 misalele39@gmail.com  
http://www.katana.cx/~fureimu/

**G** タビエスタイル  
大阪市中央区南船場4-4-17 B1  
☎06-4963-7450  
http://www.5f.biglobe.ne.jp/~tapie/

**H** ポーポー屋  
大阪市西区北堀江1-14-21 鳥かごビルディング2F  
☎06-6531-7827  
http://www2.odn.ne.jp/ippuku-popo/

**I** 貸本喫茶ちよちよぽっこ  
大阪市西区北堀江1-14-21 鳥かごビルディング4F  
http://www.geocities.co.jp/chochobocko/

研修医だったころの私は、大学病院の先輩医師たちを尊敬するより、反発する気持のほうが強かった。彼らはいずれも優秀な医師だったが、どれほど患者のことを真剣に考えているのか疑問に思えたからだ。

ある指導医は、大学病院は治る患者を優先すると行って、転移のあるがん患者をほかの病院に転院させながら、身内の医師の妻は転移があるのに入院させた。ある医師は、総胆管がんの父親を死ぬまで入院させ、亡くなったあと解剖をしなかった（一般の患者はほぼ全員解剖するの）。また、腹腔鏡の検査データを集めていたある指導医は、いろいろ理由をつけて、必要のない患者にも腹腔鏡の検査をやっていた。

教授の紹介だからといって手術の順番を飛ばしたり、患者が手術当日に発熱して手術が延期になると、手術件数を減らしたくないという理由で、急遽、別の患者の手術を繰り上げてしたりもしていた。

そういう医師らを見てみると、彼らが考えているのは、患者のことより、自分たちの都合と力してほしいと依頼する。偽薬についても説明し、場合によっては何の効果もない薬をのまされる可能性もあると告げる。

もし自分が患者なら、ぜひとも新薬を使いたいと願うだろう。しかし、偽薬をのんでくれる患者もいないと、正確なデータは得られない。新薬の開発には、常にこのような患者の自己犠牲がつきまとう。自分や身内が患者のとき、その犠牲を引き受けられるのか。

私はこういう医療の矛盾や、避けられない不条理に、疑問を感じるが多かった。

大学病院の先輩医師を見ると、彼らは治療よりも研究に熱心で、医学界で自分が偉くなることばかりに興味が向いているように思えた。手術も患者のためというより、自分や医局の実績のためにやっている感じだった。私はそんな状況に疑問を感じ、大学病院の医療に批判的な気持を強めていた。

一人前の医師にもならないうちから、そんな思い上がった考えを持っていたので、私は外科の研修の最後に、たいへんな失態を演じてしまった。後輩の研修医が入ってきたとき、患者をほったらかして、遊びに出かけてしまったのである。

研修は毎年5月半ばにはじまるが、7月に前年度の研修医が外部の病院に出るまでの約1ヵ月半、新旧の研修医が重なる。その間に、新研修医は先輩研修医とペアになって、病院勤務の



## 中之島ふらふら青春記⑨ 久坂部 羊

〈研修医生活外科編IV〉

# 外科研修最後の失態

利益ばかりのように思えた。

私が疑問に思ったことのひとつに、抗がん剤の治療がある。治療とは、新しい薬の効果を調べるための臨床実験のことだ。効果を客観的に判定するため、患者を2つのグループに分けて、一方には新薬、もう一方には新薬にそっくりな偽薬（プラセボ）を投与する。薬をのんだという思いだけで症状がよくなる患者がいるので、その誤差を差し引くためである（だから、心理的な効果で薬が効くことを「プラセボ効果」という）。

今は新薬と偽薬のグループ分けは、ばらつきがないようコンピュータで無作為に決めるが、当時は「封筒法」といって、封筒に新薬あるいは「いろは」を教えてもらうのである。これはひと月もあれば十分なので、先輩研修医たちは6月後半になるとあまり病院に顔を出さなくなる。私の1年先輩には、長い休みをとって海外旅行に出かける者もいた。それを見ていた私は、自分も研修の終わりにには休暇を取ろうと、密かに目論んでいた。

新しい研修医が入ってきたとき、私は後輩が早く一人立ちできるように、いつになく気合をいれて仕事を教え込んだ。6月後半に大きな手術があると休みはとりにくいが、うまい具合に私と後輩がペアで受け持つ手術は、6月上旬の肝臓がんで終わりだった。それさえクリアすれば、1週間くらいは休める。そこで私はヨーロッパ旅行を計画した。

肝臓がんは大きな手術だが、幸い患者の経過は良好で、私はうまく旅行に出られそうだった。ところが出発の前夜遅くに、当直の指導医から電話がかかってきた。

「おまえの肝臓がんの患者、肺炎を起こしてるぞ。明日、朝イチに病院に来い」  
今から考えるととんでもないことだが、私のその指導医に「実は明日、朝からヨーロッパ旅行なんです」と言った。指導医は「うーん」と唸ったあと、舌打ちをして、「しゃあないなあ」と言った。それで私は後ろ髪を引かれつつも、後輩に患者を任せて、予定通り、妻とともに旅行に出かけることにした。

翌日、病院では患者の容態が悪化し、大騒ぎ

は偽薬と書いた紙を入れて、くじ引きで決めていた。そうしないと、治療の担当医はどうしてもよい結果を出したいので、治る見込みの高い患者に新薬を使い、治りにくそうな患者に偽薬を割り振るといふ作爲が生じかねないからだ。この封筒選びを、研修医がさせられた。あくまで恣意性を排するためだろうが、私は大いに疑問を感じた。抗がん剤の治療は、いわば手術で救えなかった患者の最後の頼みの綱だ。偽薬に当たれば、ただのメリケン粉みたいなものをのまされる。その重大な運命の分かれ道を、自分が決めるなんてとても耐えられない。患者にきちんと説明してやるならまだしも、適当にごまかしてやっていたので、よけいに釈然としなかった。

現在はもちろんそんなことは許されない。治療をするときには、患者に新しい薬の効果と副作用をきちんと説明し、データを取るために協

1週間後、帰宅した私は、研修医の友人に電話をして、「留守の間、問題なかったか」と訊ねた。友人は「ア・リトル・バッド・ニュース」と言い、肝臓がんの患者が重症の肺炎になって、集中治療室に入ったと教えてくれた。何とか一命は取り留めたものの、後輩の研修医は右も左もわからず、別の友人がつききりで指導してくれたとのことだった。

翌朝、私はいちばんに病院に行き、あちこちに頭を下げてまわった。指導医には激怒されるかと思っただけだが、苦虫を噛みつぶしたような顔をされただけだった。自分が旅行を許可した手順怒りにくかったのかもしれない。患者はやつれた顔で「この1週間のことは、ほとんど覚えていません」と言った。私は「すみませんでした」と謝り、それから6月いっぱい病院に泊まり込んで治療に当たった。

自分の患者が重症になったのに、それを未熟な後輩に任せて旅行に行くなど、もつてのほかである。幸い、患者は無事に退院したけれど、万一、亡くなっていたら取り返しがつかない。当時の私は、医師としての自覚にまったく欠けた。何と浅はかなことか。この件を思い出すと、今も顔から火が出る。

くさかべよう 1955年生まれ。大阪大学医学部卒業。

麻醉医、外科医、在外公館での医務官としても勤務した後、2003年『廃用身』（幻冬舎文庫）でデビュー。

現代医療への提言と生きること・死ぬことについて考える

契機に満ちた作風が人気を呼び『破裂』は10万部を超えるヒットに。

去年の6月から書いていた長編小説がようやく脱稿します。ウィーン、東京、神戸を舞台にした疫病パニック。

『無痛』の続編でもあります。タイトルは『第五番』 乞うご期待！

**大** 阪倶楽部と小誌併催による「東日本大震災チャリティーコンサート」が、去る5月7日、盛況のうちに終了した。ゴールデンウィーク中にもかかわらず、ナカノシマ大学などでもお馴染みの4階ホールには、大阪倶楽部社員だけでなく、一般の聴衆ら100名近くで賑わった。

ハーブ奏者の摩寿意英子さんが奏でたのは、マリーアントワネットのハーブ製造者として知られるナデルマン社製のシングルアクションハーブ。繊細な音色による「マダムデュセッタ」や「アメージンググレイス」などの演奏の後、わざわざ東京からボランティアで参加されたテノール歌手・望月哲也さんがト部俊子さんのピアノと共に「葦」や「初恋」などで、その美声を披露。ラストには大阪倶楽部の名物イベント「JAZZの夕べ」でもおなじみの多田恵美子さん率いるカルテットによるライブも。「A列車で行こう」や「キヤラバン」といった往年のスタンダードナンバーを中心に盛り上がった。

この日、ご夫婦で参加された男性会員は「オペラからジャズまで、日頃はなじみのない大阪倶楽部という場所で堪能できて楽しかった。しかも

Will you join us?  
中之島に「入会」しませんか?

取材・文/石原卓(本誌)



大阪倶楽部で  
チャリティーコンサート。

微力ながら被災地の方への応援をすることもできて有意義だった」と感想を語ってくれた。参加費として集められたチケット代のほか、玄関ホールや会場内に設けられた募金箱で集められた金額のすべてが被災地へ送られる。全国から無償で集った音楽家たちと、大阪倶楽部会員、そして一般で応募した音楽ファンが一体となったアットホームなコンサート。主催の大阪倶楽部は「今後もこうしたイベントを通して被災地への支援を活発に行っていくたい」と抱負を語った。日頃は厳格に会員限定を守り続ける大阪倶楽部だが、被災地への想いはひとつ。平成大阪の、品は良いけど太っ腹な「ほんち魂」を感じた一日だったのである。

大阪倶楽部が  
公開見学会を開催!

日程/6月11日(土)  
時間/〈A・見学会のみ〉10:00AM~11:00AM  
〈B・見学会+食事〉11:30AM~0:30PM  
(見学会、食事)  
参加費/Aは無料、Bは2,500円(食事代)  
定員/A・B共に15名(申し込み先着順)  
申し込み方法/  
住所・氏名・参加人数(3名まで)・  
電話番号・AかBどちらを希望するかを、  
ファックスまたはメールでお送りください。  
FAX.06-6231-8365  
jimukyoku@osaka-club.or.jp



北新地にあわせた、  
プレミアムウイスキーを  
使ったハイボール。

ハイボール、つまりウイスキーのソーダ割り、この数年で「ブーム」を越え、もはや「定番」と化した。しかし、本当の愉しみはここから。ウイスキーという芸術の複雑で奥深い味わい



「響12年」は繊細でバランスが良く、「山崎10年」はコクのある味わいと穀物由来の甘み特徴。

地元で飲むからさらに美味しい!  
北新地ハイボール物語。

を知る人向けにサントリーは昨年、シングルモルト「山崎10年」を使った「北新地ハイボール」を提案。これが北新地を中心にヒットし、プレミアムウイスキーの新しい飲み方が広まった。同社のチーフブレンドー興水精一氏が挙げるハイボールの利点は3つ。「甘く華やかな個性が際立つ」「爽快感で飲み口がスムーズになる」「程良い渋味や酸味が食べ物の味わいを高める」。常に食との相性を考え、日本人に合うウイスキーの飲み方を追求してきたサントリーならではの指向である。

「山崎10年」に続き、「響12年」もラインアップ。そして、今回新たに「北新地ハイボール」のラインナップに加わるのが「響12年」。興水氏が「ブレンドドウイスキーのスタンダードである12年物で、世界に通用するクオリティを目指した」という逸品。もともと「響」は北新地での人気が高く、同社も「この街で育ったブランド」と見るほどだから、満を持しての登場となる。

ハイボールにするとバランスの良さ、甘い余韻が際立ち、「山崎」に比べ、より繊細な料理に合う。例えば、白身魚や茶わん蒸し、塩で食べる天ぷら。グラスは、口がすぼまり、香りがよく溜まるものが多い。「北新地ハイボール」を出すお店では、このためにサントリーが用意した専用のグラスでつくってくれる。ぎつしり氷を入れ、明るい琥珀色のウイスキーと冷えたソーダをゆつくり注げば、北新地の夜はいつそう華やかに香り立つことだろう。

北新地からの声。  
堂島米酒会所

スタンディングの気軽なスタイルで、早い時間には会社帰り客で、遅がけには締め一杯を求める客でにぎわう。「北新地ハイボール」も人気で、「せっかく北新地に来たんだからと選んでくれる人が多いですね。山崎でつくったハイボールは、肉料理などしっかりした味のものをはじめ、どんなお料理にも相性が良さそうですね」と店主の土井剛彦さん。



「北新地ハイボール」はこちらでは600円〜。☎06-6347-5589 6:00PM~2:00AM 日・祝休 地図→P23



「北新地ハイボール」実施店用のロゴ入り提灯も今年から登場。この提灯を目印にお店を目指していただきたい。

映画と小説の舞台、大阪城へ!



©2011 フジテレビジョン 関西テレビ放送 東宝 全国東宝系映画館にて公開中

万城目学氏の同名小説を映画化した作品『プリンセス トヨトミ』。大阪が全停止したという奇想天外な設定で物語が展開し、これまでの『鴨川ホルモー』『鹿男あをによし』などに勝るとも劣らない、壮大なホラ話

その公開を記念して開催されているロケ写真パネル展では、映画のシーンや、大阪城や大阪府庁でのロケ風景を収めた写真パネル約20点が展示されている。作中でも重要地点となる大阪城での開催とあり、原作ファンには嬉しいパネル展だ。また天守閣3階で

映画「プリンセス トヨトミ」ロケ写真パネル展 開催期間/6月30日(木)まで 9:00AM~5:00PM 会場/大阪城天守閣2階展示室 料金/大人600円(天守閣入場料) ※中学生以下、大阪市在住65歳以上の方、障害者手帳等御持参の方は無料 ●詳しくはhttp://www.osakacastle.net/

スリルと興奮に満ちた世界へ!



Costume: Marie-Chantale Vaillancourt ©2010,2011 Fuji Television

人間の身体能力の限界にまで挑戦するパフォーマンスで、照明や衣装、舞台美術などの細部へのこだわりで、多くの人々を魅了しているエンターテインメント集団「シルク・ドゥ・ソレイユ」。昨年の6月まで開催され、日本ツアー観客動員数の新記録を樹立した公演『コリアオ』の興奮も冷めやらぬまま、今夏『クーザ』が中之島にやって来る。『クーザ』は、自分の居場所を探し求める無邪気な少年の物語。サンスクリット語で『宝箱』を意味する『KOOZA』からインスパイアされたタイトルとあり、ある日突然、少年の下に大きな箱が届くところから物語が動き出していく。『シルク・ドゥ・ソレイユ』の世界に酔いしれていただきたい。(金哲志・本誌)

『クーザ』 公演期間/8月4日(木)~11月6日(日) 会場/中之島ビッグトップ(大阪・中之島特設会場) 入場料/S席:12,000円(8,000円)、A席9,500円(6,000円)、B席・車イス席:6,000円(4,000円) ※カコ内は子供料金 ※3歳~小学生、3歳未満でも座席が必要な場合は子供券をお求め下さい ※土・日・祝はそれぞれ+1,000円 問い合わせ/ダイヤル クーザ大阪公演事務局 ☎06-7732-8890(10:00AM~7:00PM) ●詳しくはhttp://www.ktv.jp/kooza/

動物たちが奏でるクラシックの調べ



文学のはじめに絵本があるように、クラシック音楽における絵本のような役割を果たしてきたいという想いから、よこはま動物園スーラシアで誕生したコンサート「音楽の絵本」が、今年の夏休みに大阪市中央公会堂にやってくる。ライオンやリスといった可愛らしい動物たちが演奏することによって、聴覚だけでなく視覚的な世界観をへり出し、子供たちを音楽の世界に引き込んでいく。斬新なアイデアで、動物たちは今や日本全国のコンサートやイベントに引

演奏曲もハチャトリアン、クライスラーといった本格的なクラシックから、ルパン三世のテーマのようなアニメソングや、「静かな湖畔」など「民謡も織り交ぜ、一流の調べを奏でてくれる。」(金哲志・本誌) 演奏曲もハチャトリアン、クライスラーといった本格的なクラシックから、ルパン三世のテーマのようなアニメソングや、「静かな湖畔」など「民謡も織り交ぜ、一流の調べを奏でてくれる。」(金哲志・本誌)

ベリータンからアラビア書道まで、天満橋からトルコへの扉を開く「トルコ文化協会」で、食をテーマにした新たなプロジェクトが始まった。まずは料理教室。レンズ豆のスープやヒヨコ豆の煮込みなど、豆類や野菜をふんだん



トルコの家庭料理を教室&パーティーで

に使った家庭料理の作り方を伝授し、ともに味わう。講師は協会の代表で、来日24年になるトラマオール・A・キヤミルさんほか、トルコ人の主婦やシェフ。4月末の第1回は、カルス・ヤルック(チスピの肉詰め)など3品を作った。原則は第2・4土曜日の午前中だが、2人以上なら平日開催も応相

料理教室の受講料は1回4,000円、2回で7,000円(共に材料費込み)。またレストランの利用は、こちらも2人以上からで、コース料理3,000円~(予約が必要)。問い合わせ ☎06-6358-1201

大阪とデザインの関係を学ぶ

中之島バンクスにある「中之島デザインミュージアム de sign de」では、現在、「野井成正の表現—外から内へ/内から外へ」が開催されている。大阪生まれの空間デザイナー・野井成正氏が手がけてきた表現活動を振り返る展覧会で、野井氏のこれまでの作品や表現の数々、デザインしてきた実物も含めた資料展示により、独自の空間が構成されている。会場内には「きづき場」など、それぞれ異なる3つの場が設



特に「きづき場」で行われるトークイベント「de sign de talk」は、ミュージアムが最も力を入れている活動の一つで、プレオープン時から続いている。このトークも展覧会に合わせた内容となり、6月9日(木)・23日(木)に行われるトークには野井氏本人も登場する。また、6月3日(金)には特集にもご登場(PR)の「gra」服部滋樹氏も出演。さらに「たまり場」は野井氏ほかクリエイターたちが集うバーになるなど、大阪という街とデザインについて、見て聞いて(飲んで?)学べるイベントだ。(金哲志・本誌)

野井成正の表現—外から内へ/内から外へ 期間/7月3日(日)まで(月曜休) 時間/12:00PM~7:00PM(入場~6:30PM) 会場/中之島デザインミュージアム de sign de 入場料/無料 問い合わせ/中之島デザインミュージアム de sign de ☎06-6444-4704 ●各イベントなど、詳しくは http://designde.jp/exhibition/

天満と言うと、市場を想像してしまいが、住所でいくと大阪天満宮の南側あたりになる。4〜5階建てのビルが建ち並び、事務所や作業場として使われていたり、1階部分にお店が入っているところも多い。オフィス街と言えなくもないが、高い建物もなく、すぐ南側には堂島川北岸の南天満公園があるからだろうか、のんびりした雰囲気がある。すぐ近くに水や緑が豊富な住み良いエリアなため、こうしたビルを住宅として使う人も増えつつある。阪口大介さんと岩田雅希さんのお住まいもその一つだ。

ビルのオーナーが知り合いだった縁で見つけた部屋を、自分たちの手で改装。宅建主任者の資格を持つ阪口さん、建築士である岩田さんという住まいのプロらしく、できあがったのは固定観念にとられない自由な住まい方の家だ。同じフロアにあった2部屋を両方借り受け、一方をキッチンのあるリビング



リビング(?)の真ん中に仕切られた一角は、阪口さんの趣味用スペース。なんて自由!

グ的なスペースに、もう一方は寝室なのだが、ベッドルーム代わりのテント(?! )の横にはユニットバスが置かれている。生活に必要なものを2つの部屋にぎゅぐりと詰め込んだような印象だが、不思議とこれがうまくはまっている。くつろぐ場所や食事をする場所、それぞれの専用の空間など、異なる機能のスペースが少しずつ重なり合いながら部屋を構成している。

「間取りについてもっと自由で良いし、決めつけるのはおかしいと思うんですよ」と阪口さん。確かにこの部屋をLDKで表現することはできないけれど、自分たちの生活に本当に必要なものを選り取りの結果とも言える。「リビングやダイニングといった考え方は、戦後になって広まったもの。個室だつ



上/天井の形を利用したクローゼット。布を吊るだけで収納スペースに。下/2室あるうちの、寝室のある部屋。布団で寝たいけれど上げ下ろしは面倒、でも万年床になるのは嫌…で、テント。「ホコリがたたくなくて良いですよ」と岩田さん。奥に見えるのが岩田さんの趣味用スペース。

## 天満 阪口大介さん・岩田雅希さん 雑居ビルの1フロア・2室を改装、自分たちの生活に合わせて変わる家。



阪口大介さん(右)と岩田雅希さんご夫婦。お二人とも引越す前から大阪市内に住んでいたが、驚いたのは「都心なのにとても静かなこと」。かといって人気がないわけではなく、適度な賑わいが心地よい。



リビングのスペースのある部屋の玄関を開けると、いきなりこんな感じ。この日は友人たちを招いた食事会だった。キッチンに魚の落書きは、遊びに来たちびっ子たちが描いたもの。

て、中高校生の子供がいなければ必要ないかもしれない」という岩田さんの一言には、ふと気づかされるものがある。「コーナー」と2人が呼んでいるそれぞれの専用スペースも面白い。スペースとは言え、床に板を張り、仕切り

で囲っただけ。でもこれで十分だと2人は口を揃える。「住んでみないと分からない部分はある。だから後からでもすぐに動かせるように」と阪口さん。家に合わせるのではなく、その時々々の自分たちの暮らしに合わせて家を変えてしまえばいいということか。

**Data** 昭和45年頃に建てられた4階建てビルの2室を改装。2室の広さは40平米と35平米(ベランダ付き)。家賃は「格安です」とのこと。京阪電車天満橋駅から徒歩5分ほどで、ベランダからは南天満公園が見える。改装は阪口さんがほぼ一人で。仕切りなどのアイデアは、ホームセンターで資材を見ながらその場で考えたのだそう。

### うちの近所のお気に入り。



#### らくたいあん 樂待庵

天満橋駅すぐそばのOMMビル21階にある日本料理店。[なだ万]で18年間修業を積んだ、総料理長・中石浩伸さんの四季を感じさせる料理が味わえる。ご覧の通り、大阪城を眼下に見下ろす眺望の良さも圧巻で、阪口さん・岩田さんのお二人も「特別な機会に使っています」とのこと。夜の懐石料理は5,775円〜。食事だけでなく、店名の由来にもなっている千利休が手がけた「待庵」をイメージした一室「樂待庵」でお茶会を開催することもできる。☎06-6910-3003 11:30AM〜2:30PM 5:30PM〜9:00PM 無休

# 大「島民」MAP

橋を渡って通う人、川を見ながら帰る人、みんな「島民」です!



## 『月刊島民』はここでもらえます。

- 京阪電車関連 京阪電車主要駅/京阪シティーモール/京阪モール/デリスタ天満橋店/ホテル京阪天満橋/ホテル京阪京橋
- 大阪市北区・中央区・福島区 【書店】旭屋書店 本店/旭屋書店 梅田地下街店/旭屋書店 堂島地下街店/紀伊国屋書店 本町店/ジュンク堂書店 大阪本店/ジュンク堂書店 梅田ヒルトンプラザ店/ジュンク堂書店 天満橋店/MARUZEN&ジュンク堂書店 梅田店/スタンダードブックストア/フックススタジオ/天牛堂書店 大江橋店/ブックファースト 梅田店/ブックファースト 淀屋橋店/文教堂書店 淀屋橋店/隆祥館書店
- 公共施設・大学関連施設など【施設】朝日カルチャーセンター/味の素 食のライブラリー/ABC朝日放送 大阪工業家ミュージアム/大阪倶楽部/大阪工業技術専門学校/大阪国際会議場/大阪市社会福祉研修・情報センター/大阪市中央公会堂/大阪市立中央図書館/大阪市役所市民情報プラザ/大阪城天守閣/大阪商工会議所/大阪大学中之島センター/大阪21世紀協会/大阪府立中之島図書館/大阪フィルハーモニー会館/大阪ボランティア協会/大阪歴史博物館/追手門学院 大阪城スクエア/関西学院大学 大阪梅田キャンパス/慶應大阪リバーサイドキャンパス/国立国際美術館/CITY NAIL'Sインターナショナルスクール/芝川ビル 市立住まい情報センター/中央電気倶楽部/ホテルNCB/メビック豊町/ろうきんギャラリー心斎橋
- 店舗・医院など【店舗】アリアスカ マーブルトレ/アンドール 本町本店/上町貸自転車/Ultra 2nd /江戸前製料理 志津可/EXPO CAFE /MJB珈琲店/大西洋服店/OOO (オー) /カセッタ/喫茶センター/喫茶SAWA /グランドセントラル/黒門さかえ/コモンカフェ/サトウ花店 中之島本店/ザ・メロディ/じろう亭/Girond's JR /心斎橋山田兄弟歯科/住友病院/セブンイレブン大阪証券取引所店/タビエスタイル/ティーハウスジカ/たまがわ鍼灸整骨院/東郷歯科医院/NAKAGAWA1948 淀屋橋店/ナンジャー/バスターレ/花かつ/BAR THE TIME 天神/平岡珈琲店/ビルマニアカフェ/フレインハウス/ミニミロー/宮崎歯科/やまどりばかや/吉田理容所/ラ・クッカーニヤ/LES LESTON
- 大阪市内その他 【書店】伊勢屋書店/大阪書店/紀伊国屋書店 京橋店/なんばミヤタ/福島書店/柳々亭 【公共施設・大学関連施設など】大阪市社会福祉研修・情報センター/大阪市立図書館 【店舗・医院など】あじさい/アートアンドクラフト/飲食店 ミリバー/大阪市信用金庫 江戸堀支店/御船かもめ/Calo Bookshop and cafe/写真とプリント社/鳥かごキッチン/ネイルサロン スワンナ/バルビコ/ホテル64オオサカ/MANGUEIRA /Loop A
- 大阪府下 旭屋書店 京阪守口店/学運堂 フレスト店/Books 呼文堂/水嶋書房 千早はもと店/水嶋書房 千早はもと駅前店/大阪狭山市立図書館/大阪大学企画部広報・社学連携事務局/大阪大学 21世紀徳徳堂/大阪大学本部/寝屋川市役所/摂南大学 地域連携センター/郵政考古学会/ゆたかりんこ
- 大阪府以外 ジュンク堂書店 新宿店/ジュンク堂書店 西宮店/水嶋書房 丹波橋店/伊丹市文化振興財団/大手通りストリートギャラリー 街・発信/納屋工房/タバーン・シンパソ/百練/奈良県立図書情報館

## ◎バックナンバーお譲りします。

バックナンバーをご希望の方には1冊100円(手数料)でお譲りしています。なお、品切れの号もありますが、予めご了承ください。お問い合わせは下記の電話番号まで。

## ◎定期購読も受け付け中です。

毎月確実に読みたい方は、ぜひお申し込みください。まずは下記の電話番号までお問い合わせ下さい。

次号予告 **中之島からはじまる旅**  
 古くは熊野詣に三石船、現代ではアクアライナーでめぐるクルーズまで、中之島からはじまる新田さまざまな「旅」を取り上げます。  
 ●『月刊島民』vol.36は2011年7月1日発行です!

編集・発行人/江弘毅(編集集団140B)  
 編集・発行/月刊島民プレス  
 若狭健作 網本武雄(株式会社 地域環境計画研究所)  
 松本創 大迫力(編集集団140B)  
 〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 吉河大阪ビル4階  
 Tel 06-4799-1340 Fax 06-4799-1341  
 制作進行/堀西賢(ALEGRESOL)  
 デザイン/山崎慎太郎  
 表紙イラスト/奈路道程  
 印刷/佐川印刷株式会社

明治8年(1875)、大阪・北浜。当時の明治政府の要職にあった、大久保利通・木戸孝允・板垣退助・伊藤博文・井上馨らが集い、今後の政府の運営方針について話し合った。教科書に言う「大阪会議」である。この会合の舞台となったのが、土佐堀川に面して建つ料亭「花外楼」だった。天保年間に加賀の国出身の伊助と呼ばれる人物が、「加賀伊」の名で料理旅館を開いたのが始まり。「花外楼」の名は、大阪会議の折、その成功を喜んだ木戸孝允が命名したものだ。その時に揮毫した扁額の文字が現在の屋号となり、今も残されている。

その老舗が、建物の老朽化のため7月いっぱいまで現在の店舗での営業を一旦終了し、改修工事を行うという。長らく愛された建物を多くの人に、見てもらおうという感謝の気持ちから、去る5月8日には、「花外楼1日歴史ミュージアム」と題した館内見学を開催。日本史にも残る名店を見逃すまいと、島民編集部ももちろん参加した。

階段は薄い板を編み合わせた網代天井、3階は亀甲形がいかに賑々しい格子天井と、趣が異なるのもさすがである。川を見渡せる茶の間や個室、奥行きのある床の間など建築だけでも見どころは尽きないが、参加者が感嘆の声を上げたのは、館内に展示された店ゆかりの品々である。

目にも鮮やかな器や屏風、絵画などに混じって多かったのが、歴史上の人物による書。大阪会議の参加者のみならず、高橋是清、桂太郎、山縣有朋といった歴代首相経験者や、三井財閥の創業者・岩崎弥太郎など財界人も多く、その名前だけで圧倒されてしまった。「調度品ももちろんですが、見てい

ただきたかったのはこの建物。これに機会に料亭とはどんな場所なのかを知って、またお食事などに来ていただければ」と、総支配人の明石佳将さんは話す。この日は最終的に1600人を超える来場者があったという。こうした人々の記憶と共に、名店はまた歴史を重ねていくのだろう。

# 老舗料亭「花外楼」は、やつぱりスゴかった。



広間はさながら「展示室」に。名残を惜しむように参加者はみな熱心に見入っていた。



左/開始時間の午前11時ちょうどに到着すると、すでに長蛇の列が。お店の人によればあまりの行列に開始時間を少し早めたそう。右/「花外楼」の徳光孝信社長。「変わる前の姿が、みなさんの心に残れば嬉しいですね」

## かがいろう 花外楼

現在の店舗は7月末で一旦営業を終了し、8月から工事に入る。再開は2014年の秋頃を予定。その間も、近くに別店舗を設けて営業を続ける。また、現店舗の記憶をとどめるべく、館内を撮影したオリジナルDVD(1,000円)を作成。7月までは現店舗で購入できる。☎06-6231-7214



この街が好き、  
おけいはん。



くずは駅前広場（楠葉駅下車）  
楠葉けい子（大学生）

きょうも、いいこと、  
見つけようかな。



おけいはん  
京阪の  
人、

京阪電車お客さまセンター ☎06-6945-4560 ※お掛け間違えのないようにお願いします。  
[平日]9時～19時 [土休日]9時～17時 ※12月30日～翌年1月3日は休業

おけいはん 検索  
www.okeihan.net